

科目ナンバリング：DCS-3-321-01/DDE-3-321-01/DES-3-321-01/DMS-3-321-01



■授業の目的及び到達目標

工学部の学生を対象にした教職科目で、学校教育における職業指導の在り方や意義を学習し、勤労・職業観を育成する指導法の研究をする。また学生に対して職業理解を図る学習活動指導法や教材開発法を修得させる。

工学系教員免許取得を目指し、勤労観・職業観の育成、キャリア教育や職業教育を進める意義の理解と教材開発法、職業指導の授業実践力を修得させる。また工業系教諭として、教育現場での実践力を身につけることを到達目標とする。

■授業計画

- 1 工業高校の現状と進路状況
工業高校の現状と卒業生の進路について学習する。また、キャリア教育と職業指導の違いについて学習する。
- 2 教育基本法等に示された職業指導
教育基本法の歴史と現在の教育基本法、学校教育法、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領について学習する。
- 3 就職に関わる諸問題I
中卒、高卒、大卒の離職率について考察と討議をし、その解決方法を学習する。
- 4 就職に関わる諸問題II
ニートやフリーター、非正規雇用が増大する現状の考察と討議をし、その解決方法を学習する。
- 5 工業系の資格と職業指導
工業高校で取得可能な資格の種類と指導方法について学習する。また、その問題点についても学習する。
- 6 就労に必要な資質
就労に必要な資質の取得と自己教育力の育成に向けた指導法を学習する。
- 7 社会人として必要な資質
キャリア教育を通して、社会人に必要な資質について学習する。
- 8 国際化における就労問題
国際化における就労問題や今後の職業指導の在り方を学習する。
- 9 I T社会・A I社会における就労形態
I T社会・A I社会における産業の多様化や就労形態の変化について学習する。
- 10 経済社会情勢の変化と職業指導
職業指導に不可欠な基礎知識として、人口構成の推移や経済情勢、有効求人倍率等について学習する。また、国際化における日本の位置づけと労働高齢化についても学習する。
- 11 職業キャリアの現状とキャリアアップの課題
継続就業者の職業キャリアの現状、離転職状況の推移と転職者について学習する。また、非正規雇用から正規雇用への移行を実現するために必要なキャリア要件についても学習する。
- 12 人生における出来事と職業
出産・育児、介護等々、今後の人生において直面する様々な出来事と就業について学習する。
- 13 職業指導Iのまとめ
授業内で記述試験を実施し、その解説を行い今後に生かせるようにする。

■授業の方法

講義形式で進めますが、その中で明らかになった諸問題については受講生に発問し、考えを述べてもらいながら授業を展開する。教科書等を使用しないので、事前に資料やプリント等を配付(ブラックボード等にU p)し講義を進める。

■予習・復習

授業前に資料やプリントを配布(ブラックボード等にU p)するので事前に課題を整理しておく。職業指導、キャリア教育、工業高校に関するインターネット記事、新聞記事、雑誌記事等を日頃からピックアップしておく。

■成績評価の方法(成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い)

授業内試験(60%)を実施するが、授業内課題の提出状況、授業への参加態度等(40%)で総合的に判断する。

■教科書・参考書

教科書・参考書等は使用しませんが、配布されたプリントや資料等を整理するファイル(A4版)を準備する。

■関連する科目

職業指導II、工業科教育法